



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方一直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

裾野市の子どもを守る請願 不採択に！

裾野市の子どもたちを守れと 130人の請願者

130人の市民のみなさんが請願者となって「2017年3月議会では、裾野市立御宿台保育園と北児童館への指定管理者指定をしないこと」を求めた請願は不採択となりました。



賛成討論を行う岩井良枝議員

3月1日の本会議で、請願の賛成は共産党市議団(岡本和枝・岩井良枝)のみでした。請願の趣旨は、裾野市が保育園・幼稚園の民営化を進めるときは「民間事業者選定(指定管理を含む)以前に地元・関係者等と民営化に関して合意を得ておく必要がある」と自ら定めているのだから、3月議会に提案された御宿台保育園

・北児童館への指定管理者の指定をしないで欲しいというものです。

市立御宿台保育園・北児童館への指定管理者導入については昨年9月1日に始めて保護者説明会があり、その後、地域向け職員向けの説明会が持たれましたが、年度内に事業者の指定をするには、10月3日～11月16日には事業者の公募が必要とスケジュールありきで進めました。この時点でも地元、関係者、市民の「民営化についての合意形成」はなされていません。行政主導で強引にスケジュールありきで進められていることに、議会としては問題視しなければいけないと討論しました。



賛成討論を行う岡本和枝議員

請願賛成討論は岡本和枝・岩井良枝が行い 反対討論は二ノ宮義明議員・井出悟議員が行いました

請願採択の賛成討論は、共産党市議団(岩

井良枝・岡本和枝)の二人が行い、反対討論は二ノ宮義明議員、井出悟議員が行いました。



賛成起立は、岡本和枝、
岩井良枝の2議員だけでした

市立御宿台保育園・北児童館の 指定管理者に社会福祉法人・桜 愛会(さくら保育園)

請願審議の次に、市立御宿台保育園・北児童館の指定管理者の指定について審議しました。市立御宿台保育園・北児童館の指定管理者の候補者として、社会福祉法人・桜愛会(所在地・裾野市公文名)が選定されています。桜愛会はさくら保育園、小柄沢公園そばの分園を運営しています。指定の期間は、平成30年4月から平成33年3月31日までです。(その後評価をして完全民営化を進めようとしています。指定管理者の場合は「公設民営」と言われます。)

私たち共産党市議団は、この指定管理者の指定についての議案に反対しました。

討論は岩井良枝議員が行いました。他の議員は全員賛成でしたが、賛成討論はありませんでした。

<岩井良枝議員の討論要旨>

●指定管理者の指定については、その過程から裾野市自らが定めた留意事項を考慮しないで公募を行ったので認められない。

●公立保育園が公設民営となることは、子どもたちにとっても保護者にとっても大変な事柄である。今回、指定管理者の第一候補となった事

業者から、保育内容について、職員の処遇について、その他どのような提案が具体的にされたのかは公表されるべきこと。それが無い状態で審査できるものではない。

●委員会審査の中では、市が保護者のみなさんに約束した1年間の合同保育、職員の処遇について提案していく等の点について、しっかりした方向性が示されなかった。時間の無い中で無理に進めてきたことがここでも露わになっている。

3月議会が始まっています

一般質問、岩井良枝は3月14日(火)3番目で午後1時15分頃から、岡本和枝は3月21日(火)1番目午前10時からです。傍聴をお願いいたします。

岡本和枝の質問通告書から

1. 就学援助の入学準備金は入学前支給の検討を

経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品や給食費などについて援助する就学援助制度。

1) 就学援助の入学準備金が入学後の6月に支給される問題については、児童・生徒が必要とする時期に支給されるよう以前から改善を求めてきました。今年度入学からの改善を表明する自治体が広がっています。裾野市でも入学前支給の検討を始めてはどうでしょうか。

2) また文科省は、17年度予算の概算要求で入学準備金を「ほぼ倍額に引き上げる方向」で要求しているとされています。裾野市の入学準備金支給額への影響は。

3) 就学援助の支給条件は、「世帯の状況や収入額などにより教育委員会で決定した家庭に支給します」「随時受け付けていますので、児童・生徒が通学している学校へ相談、申請して下さい」となっています。その他として「民生委員

による家庭訪問調査があります」となっていますが、いつどのような調査が行われますか。

2. 文化遺産を活かした地域活性化事業について

文科省の文化遺産を活かした地域活性化事業は、地域の多様で豊かな文化遺産を活用して、伝統行事・伝統芸能の公開、後継者育成、古典に親しむ活動など、特色ある総合的な取り組みを支援することで、文化振興とともに地域活性化の推進を図るとしています。その中に「地域の文化遺産次世代継承事業」があり、地方公共団体が策定する、実施計画に盛り込まれた事業を支援するとあります。

- 1) 裾野市の文化遺産に対する総合的な取り組みの実施計画の検討を始めてはどうか。
- 2) 深良用水を現代のトンネル掘削、地質等から見た調査研究が必要と思うがどうか。
- 3) 「深良用水懸かり」の全ての堰の案内看板の設置の考えはどうか。
- 4) 裾野市には、世界遺産が1件、国指定文化財が3件、県指定文化財が3件、市の指定文化財 14 件と指定文化財候補 10 件があります。今後の指定の方向性を伺います。

岩井良枝の質問通告書から

1. 既存公園の維持管理と市民要望に応え新設の推進について

これまでも公園の維持管理・新設について、質問を重ねてきました。

新年度から、都市公園の担当をまちづくり課に一元化、緑のマスタープランである「緑の基本計画」を見直し、市内全体の緑地の保全・公園の配置についても検討していくことになっています。市として市民要望の多い公園の維持管理・新設にむけ動き出していただけると、大いに期待するところですが、これこそスピード感をもって推進していただきたいとの観点から以下伺います。

1) 当市における公園施策の基本理念を伺います。

2) 組織体制について以下伺います。

2. 公立幼児施設の果たすべき役割について

当市は幼児施設基本構想などで、公立幼児施設の民営化の方針を立て進めようとしています。これは当市に限らず、全国的な流れであることは承知しているところですが、国が負担していた公立保育所運営費を地方公共団体の一般財源化したことが大きな要因になっています。

しかし、市には、行政機関として、保育施策・子育て支援施策を推進する責務があります。子どもたちを取り巻く社会状況が急速に変わり、新たな保育・子育ての課題に対しては、公立保育園、幼稚園が積極的かつ柔軟に対応していくことが重要になってきていると考えます。以下伺います。

- 1) 保護者から子どもたちの健やかな成長のための保育・教育がされ、安心して預けられると信頼されている公立幼児施設ですが、なにが要因だと思われますか。
- 2) 子育て世代応援をうたっている当市において、子どもたちのことを第 1 に考え、市直営の公立幼児施設のさらなる充実を図ることこそ、少子化対策、定住人口の増加策につながることを考えます。見解を伺います。

安倍首相夫妻が関わる森友学園問題はロッキード事件を上回る大疑惑！

安倍首相と首相夫人の安倍昭恵氏がかかわり、安倍昭恵氏はこの問題で大騒ぎになるまで「名誉校長」という肩書きがついていた森本学園が建設しようとしている小学校。「安倍晋三記念小学校」で申請したが大阪府から「その名称ではダメ」と言われ「森本学園・瑞穂の国記

念小学院」で申請されているこの学校がいま大問題になっています。



最初「安倍晋三記念小学校」で申請され、大阪府から「それはだめ」と却下された建設中の「森本学園・瑞穂の国記念小学校」



次から次へと嘘とデタラメが露見していますが、少し列举してみます。

① とんでもない値引き。

隣接地と同じ地価で計算すると14億円の土地を値引きして9億5,600万円と見積もったが埋設しているゴミの撤去費用で8億円余りかかるとして1億3,200万円に。これでもとんでもない値引きですが、さらに、木造建物だから補助金8,000万円、緑地事業として5,000万円の補助金・助成金が出るなどして、結局、なんと実質200万円しか払わない。

② 森友学園の幼稚園では軍国時代を支えた「教育勅語」を暗唱させています。教育勅語は平和な時代にそぐわないとして戦後の第2回国会で「失効確認」がされています。

③ 経歴詐称。籠池泰典理事長の経歴が事実と異なる。自治省(現総務省)から奈良県に

出向していたとしていたがその事実はない。出身学部も詐称している。

④ 先日まで安倍昭恵・首相夫人が名誉校長となっていた。昭恵夫人の前で子どもたちが、「安倍首相 がんばれ。安保法制(戦争法)国会通過よかったです」と大きな声を出している動画がネット上に流れています。

⑤ 政治家への口利き依頼。鴻池議員は突き返す。これはテレビでも何度も報道されています。

⑥ 「愛知県の私立中学校への推薦入学」のウソ。相手の学校が「まったくそのような事実はありません」と否定しています。

●安倍首相の真相説明責任は逃れることができません。

大場川の峰下地区で 河川改修工事中です



大場川に重機が入って作業しています

6年目の3・11裾野でも アクションがあります

東北大震災、福島第一原発大災害から6年目の3月11日が来ます。

震災以後裾野市で活動を続けている「放射能からふるさとと子どもたちを守るために浜岡原発をなくす会」は、今年もJAふれあい市前交差点でスタンディングアクションを行います。朝8時45分から9時までの15分間です。是非あなたも一緒に。